

事業所における自己評価結果(公表)

公表:2020年 3月27日

事業所名 児童発達支援事業所ひろば (学童ひろば)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			室内だけでなく地域の公園や公共施設などを利用した活動を組み立てていきます。
	② 職員の配置数は適切である	○		常勤職員を3名配置しています。(内2名が児童指導員)	常勤職員や有資格者等の情報が保護者に伝わるよう、掲示板やお便り等で伝えていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動に集中できるように、室内に余計な物を置かないようにしたり、部屋を扉で区切ることができるようにしたりしています。	保護者が子どもの活動環境を見る機会が少ないという指摘がありました。今後は活動の様子だけでなく、環境設定の工夫などについても保護者に説明していきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		同じ意図をもって、支援にあたるように週に1度のスタッフ間での会議などで随時意見交換を行っています。	
	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1度、保護者向けアンケートを実施し、業務改善につなげています。H29年度から保護者向け評価アンケートを実施しています。	保護者向け評価アンケートの結果を踏まえて自己評価表を作成し、次年度の改善に努めています。
	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		H29年度からHPで公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は実施していませんが、今後必要に応じて実施していきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			法人内研修、事業所内研修を定期的に行い、外部研修にも参加を促しています。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		計画期間ごとにアセスメントを行った上で、放課後等デイサービス計画を作成しています。	客観的にアセスメントを行えるよう、一人の計画を複数の職員で作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		京都市の様式に基づいたアセスメントシートを使用しています。	
⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎回の活動のプログラムを、チームで確認しています。個別ケースの場合も、チームでアセスメントを行い、活動方針を一緒に考えています。		
⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				
適切な支援の	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇中に、川遊びや山登りなどの特別なプログラムを計画しています。	毎回の活動の振り返りを通して子どもの変化していく課題について、情報を職員間で共有しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもによっては、個別の時間と集団の時間を確保できるように活動を設定し、保護者に説明しています。	

提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎回、支援に入る職員全員で、必ず打ち合わせを実施しています。	打ち合せの中でも活動についての議論をしてその日の活動をより良いものに行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後には、支援に入った全職員で振り返りを行い、子どもの様子などを共有しています。	子どもの見方が偏らないように、一人の子どもについて複数の職員で意見を出し合っています。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		活動の内容、子どもの様子を毎回記録し、次の活動の計画の参考にしています。	
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月ごとにモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。	モニタリング会議を開き、子どもに関係した全職員から意見を聞くようにしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせせて支援を行っているか	○		創作活動、地域との交流の機会の提供などを組み合わせた支援を提供しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議に担当者が参画し、子どもの普段の状況を共有しています。	
	㉑	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っている	○		必要に応じて、学校との情報共有を行っています。保護者や学校からの希望がある場合には、学校訪問も行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在、医療的ケアが必要な子どもを受け入れていませんが、今後必要があれば、連絡体制を整えます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めている	○		児童発達支援事業所等と引き継ぎを行い、情報共有に努めています。	今後は、年度初めの引き継ぎだけでなく、4月以降も定期的に情報共有をしていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		これまでに障害福祉サービス事業所に移行した利用者はありませんが、次に利用したい放課後等デイサービス事業所の見学に同行するなどした例があります。	
	㉕	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関とのケースカンファレンスを行う際には、連携しています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			主に地域の小中学校に通う子ども、地域の児童館等を利用して子どもが通ってきているため、交流する機会は設けていません。
	㉗	(自立支援)協議会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		北部地域自立支援協議会児童部会に参加しています。	他事業所との交流を通して定期的な情報交換をしていきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		活動の報告や面談等で子どもの発達の状況や課題について共通理解が持てるようにしています。	普段の活動報告や個別支援計画の面談だけでは話足りないという保護者の声が多くありました。今後は保護者と職員のより話しやすい雰囲気をつくり、いつでも相談ができるようにしていきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		月に1回の保護者グループに経験豊富なスタッフが入り、子育てに関するアドバイスを行ったり保護者同士の交流の場を設けています。	個別療育利用の保護者に対する保護者支援が不十分です。昨年2度開催した保護者の交流会を参考に、定期的な交流の機会をつくっていきます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		初回利用日に保護者との面談を行い、丁寧に説明を行っています。	
	③⑪	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者から相談があった際には、必要に応じて個別の面談を行っています。	保護者が気軽に相談できるような雰囲気作りをしています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
	③⑬	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応の体制について、重要事項説明書に記載した上で、保護者と確認しています。苦情があった際には、迅速に対応するよう心掛けています。	保護者に対して、苦情対応についての周知が不十分でした。契約時の説明に加え、掲示板での周知をしています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		学童ひろばでは毎月お便りを発行しています。	個別療育や土曜日の利用者に対しては定期的にお便りを発行していません。保護者にとって必要な情報をお便り等を通して発信していきます。
	③⑮	個人情報の取扱いに十分注意している	○		職員全員で、共通の認識を持てるようにしています。	
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		状況に合わせて、電話・メール・書面などで対応しています。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知している	○		重要事項説明書に緊急時の対応について記載しています。職員間では、ミーティングにおいて共有しています。	周知が不十分であったため、知らない保護者がたくさんいました。今後は契約時、丁寧に保護者に伝えていきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難救出その他必要な訓練を実施している	○		年2～3回避難訓練を行っています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年1回虐待防止の研修の内容を共有しています。	
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの書面と聞き取りにて、アレルギーの有無について情報を得て対応しています。	アレルギーに関する個別の情報を職員全体で共有し、対応していきます。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例集を作成し、状況や対応について会議で共有しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、保護者による評価を受けて、事業所全体で行った自己評価です。